立命館大学大学院キャリアパス推進室2020年度学生研究会活動支援制度最終報告

国際関係研究会

メンバー

国際関係研究科：北　和樹（代表）
社会学研究科：峯　桃香（副代表）
文学研究科：猪熊　慶祐
国際関係研究科：半田　あづみ
国際関係学部：趙　晟民

新規メンバー募集中
一緒に研究しよう💛
ir007080@ed.ritsumei.ac.jp(事務局)まで！

研究テーマ

国際関係学の思想・理論について研究し、現代の国際関係に対する洞察力を養う

研究目的

紛争、貧困、環境、人権など、国際社会における諸問題はますます複雑化している。その解決の一助となるべく各メンバーは研究を進めているが、複雑な社会現象を対象に研究を進める際には、多様な領域を連携させて研究を進め、広く視野を持つことが必要である。そこで、政治、経済、法、文化等の国際関係に関する諸学の助けを借りながら、国際関係に関わる思想・哲学ならびに国際関係学への理解を深める。

研究内容

個人研究発表

猪熊：パロディの劇場娯楽――クリスティ・ミンストレルズの笑劇
峯：戦争責任の語りの社会的背景
半田:気候変動適応策と災害政策の政策統合
北：科学技術をどのようにガバナンスするか
趙：日韓貿易紛争の報道から見る新聞の偏向性
　　ープロパガンダ・モデルによる実証分析ー

輪読会

吉川直人・野口和彦　『国際関係理論』

評価

本研究会では、国際関係における入門書の輪読を中心に行い、その理論の基本的な整理を行った。学際的学術領域であるため、異なる研究分野のメンバーで理論について輪読をしたことで、メンバー各々が多角的な視座を獲得することができた。一方で、一つのディシプリンに統一されることがないために、輪読書の議論がそれぞれの研究に活用できるとはいいがたい。
また、異なる研究分野のメンバーに対して自身の研究報告を行うことで、互いの研究分野の理解を深めることになった。今年度は対面ではなくオンラインで開催したが、自身の研究に客観的な意見を得る貴重な機会になった。